



紀宝町

議会だより

平成21年9月1日発行（第13号）



大里自然プール

議 会 日 誌

平成21年 4月～6月

- | | | | |
|-------|---|-------|-------------------------------------|
| 4月10日 | 第5回全国自治体議会改革推進シンポジウム（津市） | 27日 | 第2回臨時会、全員協議会
議員定数調査特別委員会、議会運営委員会 |
| 20日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 28日 | 南牟婁清掃施設組合議会第1回臨時会（御浜町） |
| 5月11日 | 議会運営委員会
紀宝地区交通安全協会代議員総会（紀宝町） | 29日 | 自治体議員研修会〔第1回〕（津市） |
| 14日 | 紀宝バイパス建設促進等要望活動（紀勢国道事務所・中部地方整備局・国土交通省）〔15日まで〕 | 6月 9日 | 議会運営委員会 |
| 18日 | 国道169号線改良促進連絡協議会総会（熊野市）
熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会総会（熊野市） | 11日 | 紀宝バイパス対策特別委員会
災害・環境保全対策特別委員会 |
| 20日 | 紀宝町交通安全対策協議会 | 16日 | 第2回定例会・第1日目、議会運営委員会 |
| 21日 | 災害・環境保全対策特別委員会
熊野川流域対策連合会理事会・総会（新宮市） | 17日 | 第2回定例会・第2日目 |
| 22日 | 熊野川河口に橋を架ける会理事会・総会（新宮市） | 18日 | 第2回定例会・第3日目 |
| 25日 | 熊野川河口大橋建設促進議員連盟理事会・総会（新宮市） | 23日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会総会・委員会（御浜町） |
| | | 25日 | 紀南中核の交流施設「里創人 熊野倶楽部」
現地見学会 |
| | | 29日 | 教育民生常任委員会 |

6月定例会 一般質問

(要約)

平成21年第2回紀宝町議会定例会は6月16日に開会しました。
第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第1回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の17日にわたり、9人の議員が質問に立ち、直面している諸課題について、当局の取り組みと考え方を質し、活発な議論が交わされました。引き続き、4人の農業委員を推薦しました。
第3日目の18日に議案審議に入り、条例の一部改正案件2件、平成21年度一般会計補正予算案件2件、町営浄化槽整備推進事業特別会計補正予算案件、並びに水道事業特別会計補正予算案件2件をそれぞれ可決しました。続いて、議会委員会条例の一部改正案件を可決し、閉会しました。

おります皆さま方とも、連携をできる場も今後検討していく必要があります。鋭意これから取り組みを進めてまいりたい。

議員

紀宝町出身の方に宣伝していただくということで、効果があると思いますし、今後地域間でやはり競争になってくると思います。そうなるという3年という期間しかないというところで、是非学生たちにもっともっと紀宝町を広めていただけるようなことを制度化して取り組んでいただきたいと思っています。

総合型運動公園整備

議員

未来を担う子どもたちが安心して遊べる、そしてスポーツができる総合型運動公園の整備を行っていけないか。当町は大変テニスが盛んで全国大会・東海大会と学生たちが大変優秀な成績をおさめています。テニスコートが現在5面しかないということで、大きな大会を誘致していくなかで、もう1面増やし6面が必

町長

大変いいご提案をいただきました。ありがとうございます。私たちが紀宝町含めて、この地域のやはり地域の発展を考える上で、この高規格道路の開通は大変大きなインパクトがあるだろうと思っております。また若い人に限らず、機会あるごとに当町出身のいろいろな各界でご活躍いただい

議員

一つ提案として、大都市・都会へ出て行った学生をふるさと観光大使と位置付けて、それを制度化することによってプロモーション活動でいいか。積極的にこの地域の文化、または観光資源を広めていっていただきたいという提案ですが、学生の場合は大学施設等多種多様な目的で使

担当課長

平成24年度までに高規格道路が熊野市まで南下してくる中で、紀宝町をもっと各地へ広めていくために、観光大使や宣伝部長などを導入してもっともっと交流人口を増やしていけないか。

観光大使・宣伝部長等に関しては、市町または観光協会などがその市町にゆかりのある芸能人また有名人や著名人などに対して観光振興等の広報活動を委嘱する職と認識しております。現在、紀宝町に



榎本 健治 議員

- ・紀宝町のPRについて
- ・総合型運動公園整備について
- ・障がい者(児)の授産施設について

他

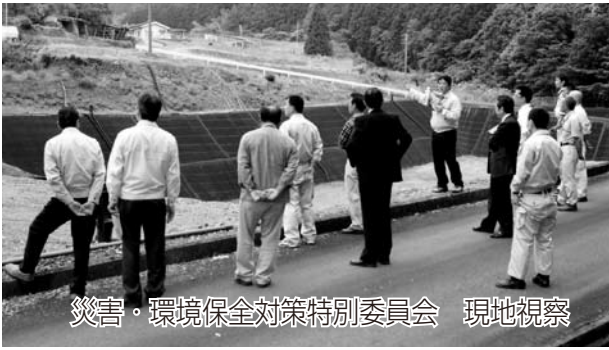
紀宝町のPR

議員

要と聞いています。高規格道路が熊野まで南下してくる中で、紀宝町でも大きな大会を誘致していけないかとも思っております。熊野市のベースボールフェスタでの経済効果の試算を聞いたところ、年間約2700万円といわれています。テニスコートをもう1面増やせないかお伺いします。

町長

議員ご指摘の部分で、特にテニスについては矢測中学校、またスポーツ少年団が大変盛んでして、特に矢測中学校は全国でも立派な成績を毎



災害・環境保全対策特別委員会 現地視察

年おさめてくれております。全国的にも有名なこの紀宝町矢測の名前を大いに高めていくためにも、また観光の面からも、一つ大事なことでないかなとも思っておりますので、これからそういった大会もできるようなことも踏まえて、整備等についても財政上許せば、前向きに考えてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思えます。

議員

前向きに考えていただいているってことで、これは町づくりのひとつの手段としてスポーツ振興を図りながら町づくりをしていくことも有効だと思います。

障がい者(児)の授産施設

議員

障がいを持たれた方々の働く場所ですが、現状のままで良いのか。今年度の計画はどのように考えているのかお伺いします。

担当課長

小規模授産施設、障がい

を持たれた方の作業所となるべくこのアプローチですが、今現在、補助金を受けて、あと町の予算と合わせて運営をしていたいておりますが、ゆくゆくは自立支援法ができたことによって、県の補助金も削減されていきます。その中で自分たちである程度の利用料の持ち出し等が発生いたします。そして新体系の移行ということで、今年以降、これまで平成4年からはじまつてずっと続けてきていただいた小規模授産施設の運営について若干の見直しが今後発生するであろうと考えております。

議員

23年度までに、自立支援法の関係で新体系に移行していく中で、自己負担も当然現れてくるわけですが、そういったところは保護者の方々にも十分理解していただいているのか。また今の授産施設で働いた報酬で賄えるのか。

担当課長

この移行への話は昨年20年から始まり、準備を始めようとしたところですが、担当者の研修会や施設等、その新体系のサービスの中で、説明会

や保護者の方にお集まりいただく場を設けることはできませんでした。負担も1割ほど発生はいたしますが、その辺の金額等含めたかたちで内容も詰めさせていただいて、利用者の方、保護者の方に説明できる場を早々に設けさせていただきたいと思っております。

議員

障がい者自立支援法の中では、障がい者がその有する能力が適性に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるように必要な支援を行うと記載されております。現状のままでは、利用料と賃金の逆転現象がおこってくるんじゃないかなというくらいの本当に低賃金で働いております。報酬を得るためにはやはり物づくりに変えていく必要があります。一つ提案ですが、授産事業についての研究会を一回立ち上げてはどうか。市場は何を求めているのか、マーケティングから有識者にも入っていただき、研究会で方向性を見出していく必要があると思うが。

担当課長

現在アプローチの方では、

若干の収益を上げているというのを聞いておりますが、マーケティング調査、本当に必要なとされるものをアプローチが提供できるかという件については、研究する場が必要であらうかと思っております。社会福祉協議会とは連絡を密に取っておりますが、それ以外の方々から貴重なご意見をいただく場がないのが実情ですので、研究の場を設けることについても前向きに検討していきたいと思っております。

鵜殿体育館 休館日の廃止

議員

現在、鵜殿体育館は月曜日が休館日となっています。しかし月曜日でも利用したいという方々もたくさんいます。そこで各ルームの利用状況は。

担当課長

現在の利用状況ですが、火曜日から日曜日で、アリーナについては12団体が利用、格技場等もスポーツ少年団等がいっぱいになっている状況です。

議員

利用状況もいっばいになっているということ、月曜日の休館日を廃止して開けていただけないか。

担当課長

教育委員会としても、現在体育館利用者も多く、トレーニング施設等もある中で、開放に向けて実施してまいりたいと思います。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.ananodokaraji.com/jpan.htm>)



矢熊 敏男 議員

- ・「美し国おこし・三重」事業などについて
- ・医療や福祉について
- ・教育に関する問題について
- ・町内産業の振興について

「美し国おこし・三重」事業

議員

私は「美し国おこし・三重」

事業、医療や福祉、教育に関する諸問題、町内産業の振興について一般質問いたします。まず「美し国おこし・三重」事業において、町内の各地域や「にほんの里100選」の浅里などで、夢のある魅力ある町づくりができないか、質問、意見、提案をさせていただきます。

去る4月25日に本事業の座談会に出席、内容を知りました。県の事業ですが、本町にとって有効で重要な事業だと考え、真剣に取り組むことを提案します。県は「各地域において文化力を活かした自立・持続可能な地域づくりが目的。住民グループや市町と連携して取り組んでいきたい。平成21年から26年にかけて展開する。1千団体のパートナーグループを組織したい。専門家も派遣できる」とのことです。町長のご見解と、事業内容、予算等の説明を。また町内座談会に出席された団体と、その後の

取り組みは。

町長

県と町、地域が一体となつて取り組んでいきたいと思っています。

担当課長

事業の内容やスケジュールは、議員のおっしゃるとおりです。予算は21年度、1億6800万円計上されています。座談会は福祉センター、保健センター、大里集会所で開催し、合計41名の方に参加していただきました。その後、「神内生き活き協議会」と「熊野川体感塾」の2団体が申請し登録を受理されています。

県は6年間で、1千グループを目標としている。本町も積極的に広く募集し、各地区最低1グループぐらい登録できないか。現在本町で課題のゴミ・環境・鳥獣害・間伐材・伝統行事・農業等も取り組める。本町には優秀で熱心な職員が多い、得意分野や出身地等を考慮し、1職員に1グループを担当していただき取り組めないか。大変お忙しくなると思いますが、町職員が指導力を発揮しないと各地

区・各グループはなかなか推進できない。是非、職員、私たち議員、区長会等が一丸となりこの事業を活用すべきではないか。

町長

ご提案いただきありがとうございます。パートナーグループとして、たくさん立ち上げれば大変ありがたい。

議員

浅里が「にほんの里100選」に選ばれてから、本町の具体的な取り組みは。私は3月議会で、パンフレット・ネット・看板等による発信、簡易水道や県道の改善、旧中学校等を体験型施設への改修、飛雪の滝の魚道の改良、川原の危険区域の点検、温泉情報

議員

の公開、熊野川体感塾との連携等の提案をしました。

看板の設置は、補正予算に計上し、その他のいろいろ検討中です。

「にほんの里100選」は、絶好のチャンスである。チャンスを生かす有効な手立ての一つとして「美し国おこし・三重」事業が考えられる。また平成21年度からの総務省の

担当課長

「集落支援制度」、農林水産省の「農山漁村（ふるさと）地域力発掘支援モデル事業」、経済産業省には、地域興しの「PR映画やホームページ作成補助事業」があると聞いた。これらにも積極的な取り組みをお願いしたい。

議員

新型インフルエンザについて、私や家族が感染した場合を想定してお聞きます。風邪の症状を感じたら、熊野保健所に電話し、指示に従い紀南病院で簡易検査を受け、A型陽性の場合、県の保健環境研究所でウイルス遺伝子検査をし、感染が確定したら紀南病院に入院する。現在もこれでよろしいですか。また町内で発症したら、町行政、社協や各種イベント・集会等や庁舎や公共施設の対応は。

議員

感染についての対応はご指摘の通りです。対応すべき暫定行動計画は作成しています。

議員

当地方での薬、消毒液、マ

医療や福祉

議員

新型インフルエンザについて、私や家族が感染した場合を想定してお聞きます。風邪の症状を感じたら、熊野保健所に電話し、指示に従い紀南病院で簡易検査を受け、A型陽性の場合、県の保健環境研究所でウイルス遺伝子検査をし、感染が確定したら紀南病院に入院する。現在もこれでよろしいですか。また町内で発症したら、町行政、社協や各種イベント・集会等や庁舎や公共施設の対応は。

感染についての対応はご指摘の通りです。対応すべき暫定行動計画は作成しています。

当地方での薬、消毒液、マ

特別参与

感染についての対応はご指摘の通りです。対応すべき暫定行動計画は作成しています。

議員

当地方での薬、消毒液、マ

議員

当地方での薬、消毒液、マ

議員

当地方での薬、消毒液、マ

スク等の備蓄は。内科医と小児科医や産婦人科医との連携等は。相野谷診療所の対応は。

特別参与

国や県の備蓄は、優先的に流行地に配布とのこと。紀南病院では、各科が連絡を取り合っていたことになると思います。発熱外来で対応しきれなくなったとき、相野谷診療所も、一端を担わなければいけないだろうと思います。

教育問題

議員

教育に関する諸問題につきまして、まずインフルエンザが発症した場合の取り組み。また修学旅行や部活の遠征等は。

教育長

学校閉鎖になると思います。修学旅行は、2中学校とまずでに終了し、小学校は7月以降に延期しました。部活の遠征等は、発生地域へは、自粛もしくは延期と規定しております。

議員

昨年度の全国体力・運動能

力・運動習慣調査の結果は、三重県は全国平均以下とのことでした。学力も大事ですが、体力・運動能力・運動習慣等の教育も重要だと思います。そこで小学校、幼稚園、保育所のグラウンドの一部を芝生にしたら、運動好きが増えるのではないかと。新聞にも「芝生の上夢広がる」が特集され、長所は転んでもケガが少なく、スポーツがやりやすい。欠点はお金がかかり、芝刈りが大変。との解説でした。

教育長

素晴らしい意見だなと思いますので、学校の先生や校長会等で話しをしていきたい。

議員

某新聞三重版に「空き校舎、自治体対応に苦慮」、県教育委員会は「管理する市町の判断に任されている。有効利用を」とあり、大杉小学校が「デイサービスセンターや大杉谷自然学校」に、旧相賀小学校は「宿泊施設海ほうず」に、旧阿曾小学校は「温泉施設阿曾温泉」に活用されているとの報道でした。本町も休校舎を、地域の活性化や「にはんの里100選・浅里」等での活用に取り組みめない

か。

担当課長

老朽化や耐震補強等の問題があります。地域住民、団体等で大いに研究し活用していただきたい。

議員

紀南清掃センターと一般廃棄物最終処分場の見学をし、ゴミ問題についての知識がより深まった。そこで小中学校時代に必ず全員見学するような、体験学習をさせられないか。さらにPTA等の大人の各種団体にもお願いし、ゴミ問題を全町民で考えていくようにしたい。

教育長

大変いい意見をいただきましたが、すでに町内の小学校では社会見学として、毎年必ずやっております。

町内産業の振興

議員

今春、紀州製紙と北越製紙が本年10月1日に、経営統合により北越紀州製紙(株)になるとの報道がありました。町民の関心も大変高く、多くの町民は私と同様、紀州工場が本町でいつまでも繁栄して欲しいと願っていることと思います。町長の現状認識についてお聞きしたい。

町長

世界的経済不況の中、紙パルプを取り巻く環境も大変厳しい状況であるとのこと、今秋より、「北越紀州製紙(株)」となります。紀州工場は、生産ライン上必要不可欠な工場として位置づけられていて、合併後も紀州工場のさらなる充実強化が図られることと、大きく期待をしているところでございます。

議員

紀州工場にもし撤退されたら、本町はもとより紀南地方は、経済、雇用、交流人口等において大打撃を受ける。紀伊半島南部はジリ貧状態になる。そこで新北越紀州製紙(株)へ、本町行政や議会が「本町での末長い操業」をお願いする具体的行動をすべきではないか。また協力態勢として「広報きほう」の用紙や役場で使用する紙に、紀州紙を購入し、近隣市町へも協力依頼等はできないか。現在、各地の企業所在地の多くの行政は、いろいろな協力支援を行っている。

町長

町と企業と一体となって、地域の産業の振興のために頑張りたいと思っています。紙の問題は、私も基本的には議員ご指摘のことだろうと思っています。

議員

6月11日の紀州工場との環境保全対策協議会において、紀州工場の本年度の環境保全計画が報告され、その中に「6月3日に近隣ゴミ燃料化検討事務局打ち合わせ実施」



の説明がありました。私は昨年12月定例会や、昨年の環境保全対策協議会で、本町のゴミを燃料化し、バイオマスボイラーで燃焼していただくよう、「工場と町による研究協議会」の設置を提案しました。今回紀州工場には素早い前向きな対応に、心から敬意を表しますと共に、町当局に真剣な取り組みを早急に願いたい。この研究は国や県も必ず指導・応援してくれると思う。ゴミや間伐材等が紀州工場の燃料として有効活用されれば、近隣市町をはじめ紀伊半島南部に循環型社会が生まれ、必ず地域の活性化につながっていくと思う。まさに紀伊半島南部の、ルネッサンスと言っても過言ではないと思います。

町長

議員ご指摘につきまして、今後積極的に研究、また協議を進めながらこの地域のそういったリサイクル、また循環型社会の構築に努力してまいりたいと思っております。

議員

これで質問や提案を終わります。ありがとうございます。



北山 千恵 議員

- ・ウミガメ公園駐車場について
- ・新型インフルエンザについて
- ・保育所建設と行政の説明責任について

ウミガメ公園 駐車場

議員

5月やお正月等の連休にはウミガメ公園はごった返した状態になり、国道42号線にも支障が出て、警察に苦情の通報が入ったということです。事実なのかと駐車台数は。

担当課長

一一〇番されています。駐車台数は大型5台と普通車46台で51台駐車可能です。

議員

熊野市まで高速が伸びると今以上の混雑が予想される

が、駐車場拡張の考えはないですか。

担当課長

25年に熊野尾鷲道路が開通すると来園者の増加が予想されます。拡張用地は三重森林管理署の所管であり、国や県、地元の協議が必要と思っています。

議員

駐車場内の混乱を避け、交通事故予防のためにも出入り口は別の方が良いと思うのですが、その方法はないのですか。

担当課長

検討しましたが、紀宝署でも右折レーンの設置距離等を考えると、事故等の心配があるということと難しいとのことでした。

議員

駐車場を拡張して長くすれば可能なのですか。

担当課長

まず、どれくらいの幅があれば可能なのか、協議させていただきたいと思います。

議員

出て行くとき、熊野方面と新宮方面を線引きすると、車の流れが良くなると思います。

担当課長

今のところ、入り口で3車線というのは難しいと思われます。

議員

出入り口の植え込みを取ってしまうと十分可能だと思います。利用者がなるべく事故を起こさない、混雑させない、それを行うのは行政の仕事だと思っていますのでよろしくお願いします。現在伊勢には年間1千万人の観光客が訪れるそうですが、熊野まで高速が伸びることで、その1割の人が当地を訪れてくれるなら、百万人の観光客が見込めます。生きた海がめを無料で見られるウミガメ公園は観光の目玉となり得る施設ですから、先手を打って駐車場整備をしていただきたいし、田代公園なども花公園として整備し、海がめを見た後は田代で資料館や花を眺め、その後、にはほんの里100選に選ばれた浅里に行ってもらえるよう、町内の観光ルートも整備していただきたい。それに町内の皆さまに呼びかけて、亀さんクッキーや亀さん饅頭と

うようにしていただきたい。

町長

いろいろな提案をいただき、亀さんクッキーや亀さん饅頭も大変ユニークなアイデアだと思います。議員ご指摘のことをやっていくためにバートナーグループ等が立ち上がったのであればありがたいです、そのことに最大限の支援をしたいと考えています。公園の拡張等も議員ご指摘のようなかたちの中で要望してまいりたい。

新型インフルエンザ

議員

言われているような毒性の強いインフルエンザがはやれば、医療機関の少ない当地域でどのようなパニックが起こるのか。

特別参与

世界中の過去最悪のスペイン風邪で試算すると、受診者が25000人、入院2000人死亡64人という数字が試算されます。

議員

当地施設で収容可能ですか。

特別参与

全員を収容しきれるベッド数ではないと考えております。

議員

先ほどの数は最悪の事態でことですが、インフルエンザに対する報道が下火になつたときの啓発をどのように考えていますか。

特別参与

予防には手洗い、うがい、ウイルスを飛散させないためのマスクが常識となるくらい徹底できればと思っております。

議員



教育民生常任委員会 現地視察

公共の施設には手洗いの方法等掲示してくれています。が、石鹼のない所が多い。そのため石鹼くらい備えてもらいたいし、インフルエンザによる死者がこの町から出ないよう、啓発をよろしく願います。

行政の説明責任

議員

全協の場で飯盛保育所の説明がありました。が、検討できる十分な資料もなく、教育民生委員会からも、いつ設計管理者を決めるコンペがあり、どのような設計図面が出ており何をコンセプトにしたのか、何の報告もなく、住民の方から決定された業者を聞く始末です。これでは行政の議会に対する説明責任に欠けていると思えます。過去の議会で再三再四、安心安全を基にハザードマップ上の浸水予想1・2層をクリアすることを要望してきました。が、それに対する説明もありませんでした。この説明責任の部分を開かせてください。

担当課長

以前はご報告していました

が、現在報告する機会を持たなかったことをまず、ここでお詫びします。約1年ほど協議してきましたことと方針は変わっておりません。子どもたちの安心安全を第一に考えています。曖昧な図面を出せば、かえって混乱を招くと口頭での説明となりました。

議員

地盤改良も必要と説明がありました。が、安心安全のための地盤改良はどのように行い、また費用はいくら必要ですか。

担当課長

津波の浸水予想と土石流の危険地域にもなっています。が、土石流については、付近の住宅も考え、本町上げて防災の根本的な解決をしていきたいし、浸水に対しては5・8層をクリアできるように1層嵩上げし、基礎の部分で50センチ上げたい。トンネルから出るズリを使って固め、状況によりセメント系の固化材が必要と考えています。そのため地盤改良費用は約5百万円くらいです。

議員

浸水予想は1・2層なので

現在の海拔4・3層を5・8層まで上げて安心ではありません。園舎の部分だけでもあと20センチ上げて6層にするには、いくら必要ですか。

担当課長

20センチ嵩上げしても費用的には変わりませんが、園庭と園舎部分の高低差と回りの民家の日照権等を考えると、5・8層がギリギリの線と考えます。

議員

説明責任と言えば、フェスティバルは今年も港で開催するそうですが、毎年提言している町が主催する港でのイベントは防災上好ましくないと意見はどうなっていますか。防災担当理事に聞きます。イベント中に大地震が来たら港はどうなりますか。

担当理事

12分後に6層の津波が押し寄せると聞いております。

議員

揺れが治まった後、約6分に参加している9千人の人がどこに避難できますかってことです。鶴殿グラウンドでもイベントは可能なわけですから、防災担当の理事としてこのことを体を張ってでも主張すべきです。井田保育所の建設予定地候補については安心安全をどう保証するのか提案し、住民の皆さまに納得してもらってから進めていただくことを要望します。

井田保育所の建設予定地候補については安心安全をどう保証するのか提案し、住民の皆さまに納得してもらってから進めていただくことを要望します。



西村 喜久男 議員

・県道、町道の安全対策について
・水道事業について
・求職者の支援について
・「美し国おこし・三重」推進事業について

県道、町道の安全対策

議員

大里トンネルの照明について、昼間でも近隣のトンネルに比べ暗いように思います。また夜間になると一層暗くなり、学生らが帰宅するとき大変危険だと思いますが、どうお考えですか。

担当課長

夜間の照明については、昼間と同じすべての箇所を点灯すると県から返答をいただいております。いつ頃かの時期については後日確認させていただきます。

町長

期待に添えるよう県にもご要望させていただきます。

議員

高岡から鮎田間の道路の傷みが激しく、自転車やバイクで走行するとき危険で事故が発生するおそれがあると思います。早急な対策が必要かと思ひます。他の傷んでいる箇所などについてもどう対応されるのでしょうか。

担当課長

平成16年度にCCTV設備設置工事が国の事業として施工され、その後5年が経過し、また大型車両通行等の増加により、わだち、クラックが広範囲に広がっている状況です。特に弁慶橋から高岡側300mについては、通行に危険な状態と考えており、早急に対応していく必要がありますので、早い時期に予算計上させていただきたいと思ひます。他の箇所や県道につい

ても、その時点で要望していただければと考えております。

議員

浅里地区が「にほんの里100選」に選ばれたことで、今後大型バス等の通行乗り入れが考えられ、鮎田から浅里までの間で、見通しが悪い箇所、道幅の狭い箇所について、町として把握され、今後どのような対応をお考えですか。

担当課長

一般地方道小船紀宝線については、毎年県に強い要望を行っていますが、ご指摘のとおり、観光による利用も増加が予測されます。狭い箇所、見通しの悪い箇所も多くあります。また、土砂崩壊や陥没も幾度となく起こり、通行止めになったことも少なくありません。これらの現状を踏まえて、小船紀宝線の必要性を理解していただき、道路改良早期着手を要望していますのでご理解とご協力をお願いします。

議員

県道紀宝川瀬線で中学生の特に自転車通学の安全について、平尾井・井内地区におい

ては、少しずつ拡張していただいておりますが、まだまだ狭く、見通しが悪く危険な箇所も残っております。今後の取り組みと見通しについてどのようになっていますか。

担当課長

相野谷小学校から平尾井間については、今年度調査測量業務を発注予定と返答をいただいております。今後も高岡地区等の見通しの悪い箇所についても引き続き改良要望を行ってまいります。

議員

町道に限らず対策の実施にあたっては、住民の方の意見を取り入れていただくための体制づくり、それと共通認識の下で実施していただくことが必要だと考えます。各地区から出た要望を委員会等で十分検討し、優先順位を決めていく体制づくりへの取り組みについてはどう思われますか。

町長

財政的に許せる範囲の中で、緊急性、また重要度、危険度などいろんなことを勘案しながら、優先順位について今後考えてまいりたいと思っています。

水道事業

議員

未給水地区の解消の取り組みの一つに挙げられると思いますが、浅里地区で簡易水道の導入が予定されていると思ひます。その進捗状況はどのようなになっていますか。

担当課長

県営中山間地域総合整備事業において営農飲雑用水施設の整備として事業の計画がなされております。今後、水道施設の設計を進めていくにあたり、地元浅里地区の意見を取り入れていくために、地区役員と既存の4水道施設の代表者とを交えた検討会を適宜開催していくこととしております。整備後の施設の管理手法や管理費用等の地元負担の関係についても、大変重要な検討課題となってきましたので、十分地元の意見を踏まえた中で、施設整備計画の立案に反映させていただくよう、今後も県に要望をしてまいりたいと考えております。

議員

水道事業は一般会計からの補填だけでは今後の健全な財

政運営は難しいと思いますがいかがですか。

担当課長

平成25年には資本的収入が支出に対し不足する額が前年度の流動資産で補えなくなりました。それで政府の「経済危機対策臨時交付金事業」を活用しまして、平成24年度までの予定事業を前倒しを行い平成21年度に実施をし、また現在一般会計からの繰出し金である企業債利子補填分を特別会計に繰り入れるとすれば、現状を維持することが可能です。しかし、将来施設の老朽化に伴い必要となります建設改良積立金などの費用については現在対応ができておらず、配水管等の耐用年数が平成30年となっていることを含め、将来必ず必要となる修繕、改修費用等についての対策を早急に講じる必要が発生し、水道料金の改正による対策が必要となり、厳しい状況には変わりありません。

求職者の支援

議員

町として求職支援窓口の設置についてのお考えは。

町長

ハローワークと連携をしながら、町の事業等と合わせた中で雇用の増進に寄与できればと思っています。

議員

地元の高校生の父兄の方から、卒業しても企業からの求人すらなく大変厳しい状況だとお聞きしました。紀宝町として、対策と支援を声に出して要望していくことが必要だと思いますがどうでしょうか。

担当課長

三重県は高校生に対しての雇用対策は特に行っていないとのことで、学校側のさらなる努力をお願いしたいと思っています。

町長

大変厳しい状況の中で、地元企業に採用の努力をしていただくようお願いをしています。

「美し国おこし」

三重「推進事業

議員

平尾井踊りをはじめとして各地区にある伝統芸能を継承していただくことに役立てな

いででしょうか。町として手助けの方法としていかがですか。

担当課長

平尾井踊りの方々も後継者不足という悩みを持っておられます。その中でいろいろと専門家のプロデューサーによる提言もいただき、そういう機会をアプローチ各団体にさせていただきたいと思います。



向井 健雅 議員

・紀宝民報の内容に対して

・町職員の絶対必要数について

紀宝民報の内容

議員

3月紀宝民報議会報告「民意に背を向ける町長と応援議

員」という見出しで出されて

おり大変憤慨をしたというのが正直な気持ちです。この民報の本身は支所問題に対する賛成議員の姿勢批判であり、支所問題に対しては、当局提案に賛成された各々の議員はそれぞれの考え方に立って結論を出したわけです。それに対して単に応援議員だとかいうことの文字に大変憤慨を感じたわけです。と同時に町長も「民意に背を向ける町長」と書かれたわけですが、いかが感じておりますか。

町長

支所問題については合併協議等において、しっかりと議論していただいたかたちだと思っております、そのかたちの中で進めてまいったということ

でございます。合わせて皆さま方のご理解もいただいていたということでございます。ただチラシとかそういう会報とか、いろんな問題については不徳のいたすところでございます、そういったものにしまして、基本的なもので対応しては、基本的なもので対応してまいりたいと思っております。基本的な対応の内容については、総務課長の方から答弁をさせていただきます。

担当課長

一般的な法律論としてお答えします。言論や出版については、日本国憲法第21条において、「言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する」とされております。ただし、同憲法第12条においては「憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民はこれを濫用してはならず、利用する責任を負う」とあります。憲法に規定されておりますように、誰もが自由に発言や出版をする権利を持つことが、民主主義の根底をなすものだと思いますが、その権利は、一人ひとりの責任のもとに成立しているものだと思います。

議員

一般論はそのとおりであろうかと思えます。それで中身ですが、この支所問題については当初、合併協議会以前の旧紀宝町において、支所の廃止について決議をしたことはいまさら持ち上げるつもりはありません。ただ議論の中で、出張支所開設を月に2回と町内13カ所という提案をされた中で、署名を集められた共産党さんや他の一般の方の

そういった思いを受けて、町内18カ所、週1回に、最終的に町長もそういう判断をされて決められたということについては、十分議論の中で反映をしたと私は評価をしておりますし、私自身も大変良かったです。という結果になったと思います。議会が終わって2カ所の総会でこの結果を報告したわけですが、支所廃止については反対というよりも、出張支所が来て良かったという声が私自身の周りでは大変多かったと感じました。いろんな議論の中で一定の役割、それぞれの議員さんや一般の方もそれぞれの役割の中で議論をした結果、こういう方向に向いたということについて



議員定数調査特別委員会

は、私自身も120%成功したのではないかと確信をしております。

町職員の絶対必要数

議員

先日来、機構改革等の中身について説明がありました。その中で人員削減にばかり目がいつて、景気対策等で事業がこちらに來ている中、それが本當にこなせるのか我々の心配の種です。來年何人退職されるか分かりませんが、それも視野に入れた中で、どういった機構改革で、課においての絶対必要人数を把握されているのかお訊ねします。



担当理事

現在、全職員数は128人となっております。課の統廃合により効率的に人員管理を行ってききましたが、事務事業の量や内容を考慮した中で、職員の適正な配置を検討するとともに、変化する行政需要に対応した組織・機構となるよう見直しを行っていくことが必要であると思っております。

議員

ただ人数を確保すればいいという考えだけではなくて、2人で3人の仕事をしようというマンパワーアップということをやっていたきたい。それと絶対数がいなければ、例えば国や県にこれをやってほしいという補助事業などは、そのまま頑張ってるでしょうが、仕事の量に忙殺されると逆にこちらから探す意欲などがおろそかになり、一般から見ても辺にいいものがあっても見逃してしまうことが一番怖い部分だと思っています。そういった状況にならないように、十分考えてやっていただきたいと思っています。

担当理事

定員管理については、各課

の事務量を絶えず把握しながら、常に進行形の視野を持って臨まなければならないと思っております。



市川 潔 議員

- ・紀宝町営浄化槽の人槽算定と使用料について
- ・鶴殿地区正午の時報について
- ・新型インフルエンザについて

浄化槽の人槽算定と使用料

議員

浄化槽の人槽の算定についてお伺いします。人槽の算定方法はJISの算定方法を根拠としているようです。また当地域では165平方メートル未満は5人槽と減員措置とされています。しかし2世帯について人数に関係なく、10人槽の設置を義務付けしています

が、維持管理面と料金面等でロスが多く見られます。なるべくなら現実に即すべきと考えます。検討する余地はあるのかどうかお訊ねします。

担当課長

議員ご指摘の2世帯の住宅とは、JIS規格により10人槽となっております。定義では、浴室及び台所が2つ以上ある住宅となっております。実際にそこで暮らす方の人数には関係ありません。実際に浴室と台所が2つ以上あった場合に、2世帯住宅と定義をされて人槽算定がなされます。ご指摘の部分については、三重県とも何度か協議をしましたが、例外を設けることは現時点では困難であるという回答をいただいております。

議員

要は1人か2人しか住んでなくて、浴室と台所が2つ以上設備されていたら10人槽の浄化槽を入れなきゃならないという今の規定になっているわけですね。JIS A 3302の規定に但し書きの項が含まれ、「実情に沿わない」と考える場合は、当該資料に基づいて増減することができるとあります。これから現

状の合併浄化槽を考える上で、家族構成を加味するような考え方を今後必要かと思えますので、県の方なり要望をさらにお願いしたい。

担当課長

議員ご指摘のとおり、この但し書きについて、町なりの地域の実情に応じた緩和措置を少しでも取り入れていただけるように、今後も県の方に協議を続けてまいりたいと考えております。

議員

担当課長に前向きな答弁をしていただけてますが、町長がいろんなところで県の方への働きかけをお願いしないといけないので、町長よろしくお願ひします。

町長

ご指摘の浄化槽の10人槽の問題については、十分理解できるところですし、これからの合併浄化槽の推進を図る上でも、課長が答弁申し上げました方向で進めさせていただき、私も努力したいと思えますので、議員の皆さん方からもご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

議員

使用料金について、高齢者

世帯、子育て世帯及び少人数世帯に対して軽減すべきと考えますが、当局にお考えをお訊ねします。

担当課長

実際に町営浄化槽事業を1年間実施し、アンケートの回答なども通じ、高齢者世帯の方などから使用料金の軽減措置の要望をいただいております。ご指摘の部分の高齢者世帯や子育て世帯への減免の基準については、条例施行規則で現時点ではうたわれておりません。今後、一定の基準を設けました軽減措置の検討について、必要性を感じているところで、今ご指摘の減免への試算等を事務サイドで行っており、できる限り早い時期に事務局としての減免案を皆さまにお示しをし、お諮りをしたいと考えております。その際にはなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

議員

本当に心強く思いました。町長の方のこの確認をお願いいたします。

町長

十分精査し、特別会計事業としての継続性も考慮する中で、新たな減免措置等について

てできるだけ早く検討をし、お示しをさせていただけるように努力してまいりたいと思っております。

—— 鵜殿地区 正午の時報

議員

現在、鵜殿地区において正午にはサイレン音が時報として用いられているが、旧紀宝地区ではチャイムが用いられているようです。「災害時にはサイレンなどとした方がいいのでは」という住民の声を聞くが、改善の考えについてはどのように考えられていますかお訊ねします。

担当理事

現在、町では防災行政無線及びモーターサイレンにより、時報のお知らせとしてチャイム及びサイレンで、住民の皆さまに周知させていただいております。この時報については、合併前からの形態で引き継いでおります。相野谷地区、桐原地区、御船地区、井田地区ではチャイムにより時報をお知らせし、鵜殿地区では、昼12時にモーターサイレンにより時報をお知らせ

し、夕方はチャイムにより時報をお知らせしているのが現状です。災害時にサイレン等に統一した方が良いのではないかと議員さんのご指摘がありますが、火災、津波などの災害時にお知らせするサイレンは、電子音サイレンで、チャイムでお知らせする災害は、地震・気象関係となっています。

議員

確認の意味で、災害時はどう感じるのかお答えお願ひします。

担当理事

火災発生時のお知らせは電子音サイレンを3秒間吹鳴し2秒休み、これを5回繰り返し、津波警報の電子音サイレンは5秒間吹鳴し6秒休み、これを2回繰り返します。緊急地震速報の場合は、推定震度4から推定震度7までチャイムが鳴り「大地震です、大地震です」を3回繰り返します。

議員

紀宝町も全体になってますし、この機会に検討を是非お願ひしたいと思います。

担当理事

鵜殿区住民の皆さまのご意

見を集約する中で、今後検討してまいりたいと考えております。

議員

町長のお考えをお願いいたします。

町長

地区の皆さん方のご意見も拝聴する中で、今後検討してまいりたいと思います。

—— 新型インフルエンザ

議員

5月16日に神戸において新型インフルエンザが国内で発生し、近畿、関東など広がりを見せている中、紀宝町における対応策についてお訊ねします。

特別参与

紀宝町においても対策本部を設置して、政府の基本的対応方針等を確認してまいりました。町内の対策については、町内発生の監視、ウイルスの性状・蔓延情報の収集、町内発生に備えての準備、発熱相談センター・発熱外来の広報、蔓延予防のための広報をしているところです。

議員

紀宝町においては、マスク

の備蓄は今現在どうか。

担当課長

マスクは1000枚備蓄をし、防護キットを30着用意をしております。

議員

ワクチンと治療薬という方法があるということで、紀宝町においては、第2波の秋以降に向かってこのワクチンの考え方は。

特別参与

今のところ製造量がどれくらいで、10月頃にどれくらいの量が出てくるのか確認できておりません。その製造された量によって、優先順序をつけて、ワクチンの接種をしていくことになるかと思ひます。状況を見ながら判断していきたいと思っております。

議員

新型インフルエンザが、秋からさらに流行しだしても対応していけるように、今からが重要になってくるかと思ひますので、まともを特別参与お願ひします。

特別参与

現在流行の新型インフルエンザは、あまり季節性のインフルエンザと変わらないというところ、その毒性と感染力

においてもあまり変わらないということも分かっております。従いまして、町民の皆さま方にはそれほど怖がらないようにしていただいて、同時に予防に心掛けていただくようにお願いしたいと思っております。



尾畑 啓嗣議員

- ・文化財の保存について
- ・保育所建設について
- ・安心安全な町づくりについて
- ・介護保険について

文化財の保存

議員

町指定の文化財は5つ、県指定が2つ、国が3つの計10個であります。合併後の議会では鶴殿の社叢林を守る会に助成金を出していることが問題となり、紀宝町内には文化財

として保存していく文化財があるのではないかと指摘があり、文化財調査委員会で検討したいと答弁されたこと記憶しております。その後の経過を報告してください。

教育長

調査委員会は月3回程度開いております。昨年度46カ所挙げて、今それを絞り込んでいるところであります。

議員

保存しなければならないものは是非、保存していただきたい。4月11日の紀南新聞に京城跡（みやこのじょうせき）の工事現場から皿や壺などの破片が大量に出土、東泉寺屋敷跡には、県下で最も古いと見られる地藏菩薩像が現存することも判明したとあるが、2カ月経った今、調査は進んでいますか。

教育長

文化財保護には三つ考えております。一つはそのままじらないで、そつとしておく、二つ目は積極的に発掘なり何かをしてやっていく、もう一つは工事が伴った場合は、これは必ずやらなければならぬ調査であります。その後のことは教育委員会とし

ては考えておりません。

議員

調査が進まなかったら道路建設はできない。道路がつかなくなったら、お年寄りはお墓へも行けない。用地買収も済み、計画も幅杭も打たれています。町はどうするのか。

担当課長

本調査には多額の費用と調査費の確保、専門職員の配置が必要です。地元とまた関係機関と協議を行っていききたい。

議員

地元と協議してお墓を別の所に移すとか、町有墓地を作るとかの考えはあるのか町長。

町長

埋蔵文化財を保護する立場と、道路等の建設する思いと、両方あるわけでございまして。地元の皆さま方の要望等に応えながら検討してまいりたい。

保育所建設

議員

設計図の中に、空調設備、冷暖房、火災報知器、スプリンクラー等の位置がござい

ん。これは考えていないのですか。

担当課長

火災報知器、空調設備等を完備した正式な図面を作成中でございます。

議員

設計図面は変更できるということですね。飯盛保育所は定員60名だが、80名入所できる面積があると報告されました。1名当りの面積は、1・98平方メートルで計算しております。（現行の国基準）この基準でいきますと、食事する所

議員

と寝る所が1歳児を除いて同じ場所となります。厚生労働省が委託を受けた全国社会福祉協議会の答申は、2歳以上の食事は1・03平方メートル、寝る所は1・40平方メートル、合計2・43平方メートルが必要である。日本の文化は、昔は食事した所で寝るのが普通であったが、今は別々にするのが当たり前であります。新しい保育所を建てるなら、寝る所と食事をする所は別にすべきではないか。設計変更ができると言いましたね。今から設計変更をしようではありませんか。

安心安全な町づくり

議員

この基準ができて60年経つとあります。今はそういうわけにはいかない。議員おっしゃるように、各家庭の事情、そして衛生的なこと、布団を上げ下ろしするその埃が飛び交う所で食事はどうだろうかという見直しがなされて、答申は事実でございます。6月から9月までは大広間で昼寝をする等、各保育所の運用の面である程度補えると思っておりますが、議会のご意見をいただきますながら、福祉課としても検討したい。

担当理事

町内の設置率は33%の2200戸、残り4600戸が未設置と予測されます。

議員

水道会計の膜ろ取り替えを1基減らして、1100万円予算を組み替えて、お年寄りや子どもを守るために使っています。どうか町長。

町長

水道会計はもうのつびきならない状況にあります。火災報知器の問題については議員ご指摘のように、今後の重要な課題として取り上げ検討したい。

議員



議会運営委員会

カーブミラーとガードレールの清掃と新設、特にガードレールは汚い、相野口永田線のガードレールの新設を。

担当課長

路側高が4.1m、法面勾配が1割以上の箇所は危険度が高い区間として設置、2.1m以上でも危険度が高い場合は設置を検討します。

介護保険

議員

介護保険の介護報酬が3%引き上げられました。これは在宅分が1・7%、施設分が1・3%であります。人材確保と処遇改善がどうなるかについて、例えば宝寿園では、3月分請求と4月分請求の額はどう変わったか。

担当課長

3月は2667万円で、4月は2791万7千円で、約4・7%増であります。(金額で124万7千円の増)

議員

宝寿園は今回の改正で16の対象があります。介護福祉士が50%以上いる紀南病院のきなん苑では加算点が12点で、宝寿園は6点であります。宝

寿園は人材確保と資格者を入れないと加算が増えません。賃金が安く労働条件が悪いため定着しません。今回の改正で改善点が見えてきたのではないのでしょうか。前回の質問で、地域包括支援センターが民間のケアマネージャーにした委託料が4000円のところを8割の3200円しか支払わない、他の市町村と他の連合は100%の4000円を支払っている、今回の改正で変わりましたか。

担当課長

1件当たり100円ほどのアップになっているというふう聞いております。

議員

なぜ100円になったか根拠を示してください。

担当課長

申し訳ございません、手元に資料がございませんので後でお答えを。

議員

議長、暫時休憩、答弁が出るまで。

担当課長

介護予防プランの作成料は3%アップの4120円となり、その8掛けで3296円、この96円という端数ござ

いますので、4円を切り上げさせていただいて3300円でございますが、連合長(熊野市長)の判断の下、これに100円を上積みさせていただきまして、3400円となっております。初回は2500円が3000円に値上げされ、4120円を足し7120円に掛ける0・9で、6408円を6410円であります。

議員

0・8が継続、0・9は初回、この根拠は。

担当課長

これもあくまで連合長の判断ということでございます。

議員

町長うちは直すべきではないか。

町長

広域連合で決定されていることでございます。

議員

宝寿園をはじめ町内事業所の労働者の時間給がどのようなになったのか9月議会までに調査をしてください。そして広域連合では河上市長の言うとおり進んでいく、紀宝町は町の考え方を持って会議に臨んでいただきたい。

担当課長

私も課長会議、担当者会議というのがございます。その場でも議員からの意見があったということは申し上げますが、議会の中では私の方では発言ができません。

※この他に、厚生労働省関係補助金事業について質問がありました。



平野 美津子 議員
・町長の政治姿勢について
・保育所について

町長の政治姿勢

議員

みなとフェスティバルと支所の廃止の問題についてお聞きします。経緯についてお聞かせください。

担当課長

第1回の開催を18年度に合併記念イベントとして、旧町村のお互いの文化・産業・芸能の交流を図る目的で開催しました。

議員

どのような交流ができましたか。

担当課長

旧鶴殿村の芸能、旧紀宝町の芸能等も披露しています。物産においても旧紀宝町の物産、旧鶴殿村の物産の交流が図られていると思っています。

議員

経費は交付金が使われています。

ますが、内訳はどのようなになっていますか。

担当課長

1回目18年度800万円、内訳は、活力ある地域づくり支援事業400万円、町費400万円、2回目19年度、合併支援交付金（県の補助金）370万円、町費330万円、3回目20年度、合併支援交付金380万円、熊野川ダム湖下流団体協議会からの助成金100万円、町費220万円です。

議員

支所の廃止は究極の費用の削減のためということですが、3カ所の支所は効率運営的に運営すれば、600万円で継続できるということですか。みなとフェスティバルを否定するものではありません。毎年大金を出して、なぜものまねのタレントを呼ぶのですか。

担当課長

この地域はタレント等に接する機会の少ない地域です。年1回お招きして、テレビ等で見るのと違い生のステージに触れていただくことも良い機会ではないかと思っています。

議員

お互いに理解し合える町づくりは、心の根底のところから交流できることではないか。高齢者祝いの問題（差額の解消）よりも、みなとフェスティバルに使う方が有効と考えているのですか。

町長

それぞれ大きな問題だと思っております、その辺は有効に私どもの方で許せる範囲の中で予算配分しながら考えてまいりたい。

議員

紀宝町社会福祉協議会（社協）の福祉基金の廃止について、町長はどのように考えているのですか。

町長

福祉基金は社協で運営されており、その中でいろいろと検討され物事を進められております。そういった中で社協において決断されたことだろうと思っています。

議員

町長は理事として参加しています。

町長

私も理事として参加していますし、評議員や理事として議員さんも参加をいただいで

おります。そういうかたちの中で参加させていただいております。

議員

この不況の中で福祉基金が廃止になって、住民の皆さんにどのような影響があるかと考えられますか。

担当課長

福祉基金というのは、助け合い金庫のことだと思います。この助け合い金庫は、貸付件数86件、貸付金額968万円、未償還額738万円と聞いております。本来、社協の予算の中で運営されておりましたが、ここ最近、経済状況の悪化に伴いまして、助け合い金庫の貸付を申し込む方が多くなっております。その中で貸付金の返済が滞る状況も発生しております、社協では新たに貸し付ける資金が確保できなくなったということで、平成19年7月31日をもって事業を廃止したということです。今後この生活に必要な資金を貸し付けることによって経済的自立を助けることが目的ですので、まだ返済されていない方にも計画的な返済をお願いしていきたいと社協からの報告を受けてお

ります。県の社協が行っております小口の貸付制度がありますのでそちらを案内していると聞いております。

議員

町としても本当に困ったときにお金が借りられるシステムを作りたいと思いますので、検討いただきますようお願いいたします。

町長

県の小口の貸付がありますので、困窮したときは、この方法も考えて利用いただければと思います。

—— 保 育 所

議員

東海・東南海地震が起こると予想されている状況の中で、保育所の安全・安心のための手立てをしていかなければいけないと思います。飯盛地域では地震が揺れば、液化化になる地域と聞いております。液化化の度合いはどれくらいですか。

担当理事

液化化については、詳しい調査はされていません。ただ地図上で埋め立てた地区は液化化になる可能性が強い



と言われています。砂地盤のところが液状化が起こりやすいと聞いています。液状化が起こった場合でも耐震補強工事をしていけば、家が傾くだけで人体に被害を及ぼしたという報告はないということです。

議員

県の発表では、液状化の4であると考えておりますが。

担当理事

県は液状化については地図上で調べていると思います。正確に調べるにはボーリング等による調査が必要かと思えます。

議員



保育所の土地は、ボーリング調査をしましたか。

担当課長

地盤調査は、スウェーデン式サイディング試験並びにラムサイディング試験を行いました。調査の結果、粘土状の地盤であると報告を受けております。

※この他に、小学校卒業までの児童の医療費の無料化、給食、介護保険の改善について質問がありました。



登立 元吉 議員

- ・国道42号線の渋滞問題について
- ・有害鳥カラス対策について

国道42号線の渋滞問題

議員

本件については紀宝町そのものと言う訳ではありませんので、はばかるところがありますが、一つの提案というところで町長のご意見をお伺いしておきます。42号線の渋滞問題につきましては官民合わせて取り組んできた結果、河口大橋が少し見えてきたところですが、でも事業化されてもなお時間を要すると考えられます。比較的容易に取り組めるようであればご検討願う価値があると思います。ただ河口大橋との絡みもありますので、深く立ち入ることは避けたいと思います。リバーシブルレーンはすでに全国的に行われています。一日の中で上下線の数が変わる形式のもので、今回問題にしてみました。変更でなくても、固定したものでいいと考えます。上下線の数が増えれば2車線といったものです。そうすることにより渋滞が解消できるのではないかと考えます。連休の時などは南進が紀宝町中につながってしまいます。この件について新宮市長と話をしてみても、国へ働きかけていただけないでしょうか。

か。市内ではずっと工事をなさっています。電線の地中化ということもあるのではないのでしょうか。

担当理事

聞いているところでは電線の地中化もあるようです。

議員

現在、上下1車線ずつで右折ポケットがある構造です。河口大橋ができれば、その必要性もなくなるかもしれませんので、限られた時期、ちょっと無理しても南進2車線、北進1車線という工夫ができないものかということだと思います。

町長

先般の土地地区での42号バイパスの説明会の席でも、交通渋滞についてなんとかならないのかといったお話がありました。この件についてもいろいろ手を尽くしていただいているようにお聞きしています。地中化によつて3車線化が可能かどうか等、私も工事内容が分かりませんので、新宮市さんのお話を聞く中で話し合ってみたいと思います。そして同じ思いに立てれば、一緒になって国の方へ働きかけたいと思います。

有害鳥カラス

議員

有害鳥カラス対策と表現しましたが、初めにお伺いします。カラスは益鳥ですか、害鳥ですか。

担当課長

一応有害駆除で出しておりますので、害鳥という認識を持っています。

議員

例年になく被害が出ているように思いますが、農作物に対する被害は。

担当課長

近年では柑橘とか水田等への被害も報告されています。数の増加もしているとの報告があり、被害が増加すると思われると思います。

議員

これは全国的な傾向のように思います。野生生物には適正な個数という考えもあると思いますが、カラスについてはどうですか。

担当課長

県としても市町での正確なデータはないということで分かれません。農作物への継続的な被害が確認されています。

ので、適正数を超えていると思われるかもしれません。対策としては、これまで捕獲を含めた対応が必要となり、猟友会による有害鳥獣捕獲制度を利用した捕獲のほか、貸し出し用のカラス箱わなを利用しています。

平成21年 第2回臨時会

平成21年第2回臨時会
は、5月27日（水）
に開かれました。

この臨時議会では、
税条例の一部改正につ
いての専決処分案件2
件を承認した後、平成
21年5月1日の人事院
勧告に伴う、期末手当
等の減額に関する条例
3件が原案通り可決さ
れました。

議会を傍聴してみませんか

本会議の開会日に傍聴席を開放しています。

傍聴を希望される方は、紀宝町議会事務局において先着順により受け付けています。傍聴席は40席あります。

次回の定例会は

9月15日（火）から開会予定です

可決された議案（6月）

●農業委員会委員の推薦

・議会推薦の農業委員会委員を4人とし、尾上喜代久さん（成川）、萩野尚武さん（井田）、有城安子さん（井内）、萩尾高子さん（鶴殿）を推薦しました。

●紀宝町課設置条例の一部改正

・本年7月1日に機構改革を行い、「環境衛生課」と「水道課」を統合して、「環境衛生課」とするものです。

●紀宝町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

・本年7月1日の機構改革に伴う、水道事業の担当課について、水道事業の設置や組織等を定めた条例を改正するものです。

●平成21年度一般会計補正予算（第1号）

●平成21年度水道事業特別会計補正予算（第1号）

●平成21年度一般会計補正予算（第2号）

●平成21年度町営浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第1号）

●平成21年度水道事業特別会計補正予算（第2号）

●紀宝町議会委員会条例の一部改正

・本年7月1日の機構改革に伴い、産業建設常任委員会の所管から「水道課」を削除するものです。

編集後記

町民の皆さま方には平素から町議会に對しまして、ご指導ご支援をいただき誠にありがとうございます。

今日では、世界中、金融危機にて日本経済も大変なときで、いろいろな景気対策、支援をしていただいています。が、まだまだ不安定で、早く景気浮上していただきたいものです。

最近エコという文字、言葉を見聞きするようになりました。地球温暖化防止に世界一丸となつての取り組みが必要となり、京都議定書に沿った温暖化対策の会議が開かれ、特に国際会議においては、先進国と途上国の隔たりをより少なくして欲しいものです。紀宝町においても、行政と議会が両輪となり、町民一人ひとりが身近なところから取り組み、地球温暖化防止にさらに参加していきましょう。

（文責 大石）

「議会だより」（第13号）

編集委員 大石 洋

阪本 守央 矢熊 達雄